

研究課題番号	3-2004
研究課題名	環境調和型抽出剤の創製と高効率レアメタルリサイクル技術の構築
研究実施期間	令和2年度～令和4年度
研究機関名	九州大学
研究代表者名	後藤 雅宏

1. 委員の指摘及び提言概要

レアメタルのリサイクルが脱炭素社会の形成に重要な位置を占めるかと考えられる中、有力な解決策を示すもので、成果を期待している。計算化学を利用して計画どおりに成果を出せている。社会実装を視野に入れた下で、新しく、また、興味ある成果が示されている。深共晶溶媒DESの活用、その具体設計法としての計算化学応用といった側面での学術的意義は大きい。出口戦略も配慮され、ラボスケールではあるが順調に進んでおり、社会実装に向けて今後を期待したい。一方で、開発された抽出材の二次的な環境への負荷等の言及が無い。システム全体の概念設計、経済性の検討をぜひお願いしたい。できたらリサイクルの全体システムに詳しいアドバイザーをPOの権限で付けたら進みがよくなる。

2. 採点結果

評価ランク：S